

皆様いかがお過ごしでしょうか。

セネガルにおいても、新型コロナウイルス（以下コロナ）対策に万全を期しながら諸活動が進められています。

日本政府としては、関連する分野でセネガル政府及び国民への支援を行っています。

セネガル政府はコロナ対策に取り組むためコロナ対策基金「FORCE COVID-19」を立ち上げました。この基金に対して、日本政府から 15 億 CFA フラン（約 3 億円）の拠出を行いました。この支援は、コロナ対策のための経済・社会レジリエンス・プログラム（PRES）の柱のうち、特に社会的弱者の保護や企業支援を通じて、コロナによる経済・社会的影響の緩和に貢献するものです。

保健分野の支援として、これまでも円借款による UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）支援、経済社会開発計画による医療関連機材供与、技術協力による母子保健サービス改善、保険システムの改善、保健省へのアドバイザーの派遣などを幅広く行っています。

特に最近のコロナ対策のため、技術協力の対象地域に対して、JICA を通じて布マスク、非接触型体温計、手洗いタンク（CFPT（セネガル日本職業訓練センター）による製作）、消毒ジェルなどの物資を寄贈しました。医療機関、教育機関などに配布されて活用されています。

さらに、国際機関を通じて、主に子供や女性のための対策強化、啓発活動などを行っています。国連児童基金（UNICEF）を通じて行った 1 5 億 4 5 0 0 万 FCFA（約 3 億円）の支援は、セネガルにおける感染予防のための機材供与、最も脆弱な世帯のための継続的な医療・栄養サービス支援、コロナの影響を受けた子供達への心理社会的サポートに向けられています。

また、健康増進のためには食糧の確保が必須です。このため、食糧援助を実施しており、今年になって約 5 3 0 0 トンの供与米が到着しました。今年度食糧援助（2. 5 億円）の署名も行い、コロナによるセネガル国民への影響の緩和、ひいてはセネガルにおける食料安全保障の改善につながることを期待しています。

引き続き、感染拡大抑制、影響を受けた人々への社会的・経済的支援などのセネガルのコロナ対策を、日本政府としても後押ししていきたいと思えます。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。



CFPT 制作手洗いタンク



対セネガル食糧援助の供与米引渡式